

和や博多を感じる佇まいを現代に ～博多塀風モルタル版の製作と活用～

1 はじめに

私は、今年3月に工業高校の教員を退職しました。私自身が、「博多塀」をモチーフに製作法等を考案した表題の取り組みを教育活動の中で取り組んできました。(別紙写真参照)

3つの企業等で採用いただいておりますが、「日本らしい」又は「博多らしい」景観を創造するには必要なアイテムと思います。観光で博多(福岡)を訪れた人々にとって印象深いものになると思います。

2 製作手順

不要な割れた和瓦等を瓦屋さんから提供いただきました。川石は長崎県佐々川の石を拾ってきて準備しました。SDGsを意識して不要なものを活用しました。

まず木枠を事前に製作しておきます。その木枠(300mm×300mm×60mm)に、モルタルを2層に分けて打設します。その後少し時間をおいて(瓦の沈下を考慮して)割れた瓦やひろった川石を押し入れて製作しています。水セメント比は50パーセント～55パーセント、配合割合は水1に対し砂2～3で試しています。脱型は3日後に行います。養生は水槽が小さいので、散水養生とし28日行います。製作手順をよく理解した指導者が必要ですが、企業でなくとも中学校や高校の授業の中でも製作は可能だと考えます。

3 効果

別紙(写真)のように床版として、観光地や公園の舗装用に活用できると思います。「観光都市福岡」の観光客から見れば、「和」や「博多」を強く感じるのではないのでしょうか。また鉄筋を入れて建物や門壁の壁版や公衆トイレの腰壁の材料としても応用できるとも考えています。

ヨーロッパの都市の石畳のように、福岡市内は「博多塀風モルタル版」と呼ばれるような取り組みになればと考えています。(夢見ています。)

福岡工高



※控

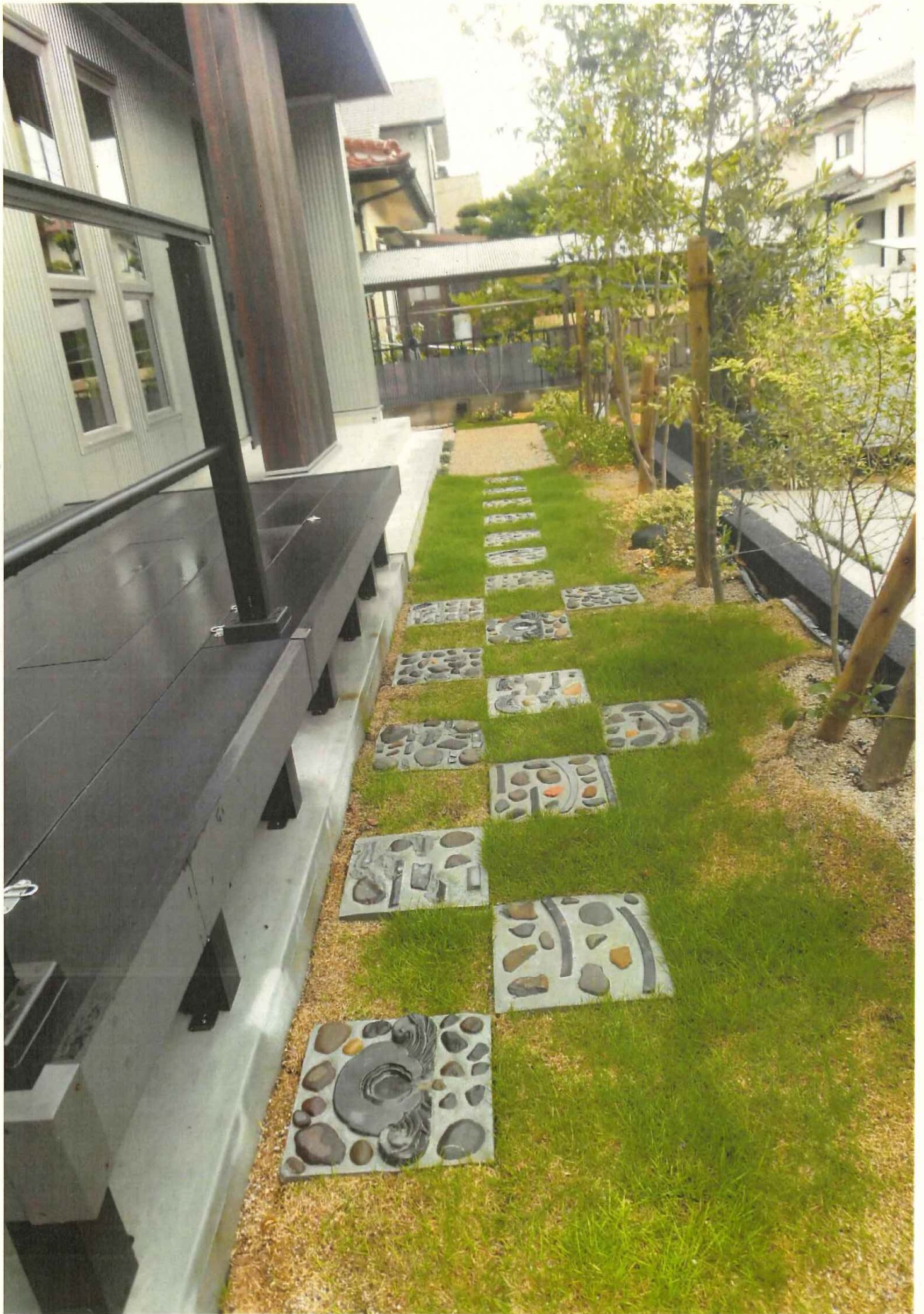
300x300

x60

mm

H30年度

健康住宅(特) 環境配慮工法採用





和や博物
を感じる
美しい版です
(搬出前)



R元年度
うきは市
列色ふるまじ館前
スロ-70に活用

深淵工高



竣工式



贈呈



博物埭風
毛儿版
散水養生中

浮羽工場

R2年度

紅乙女酒造(株)

で活用

(搬出前)





紅己好
2014
10月



日本庭園の
入口にある
了行の道



博多海老をモチーフにしたデザイン

作り手の気持ちや伝統が伝わってきます

製作中 (毛内儿打設後)

工場生産
では表現でき
ない、手作り感のあるものです。